

(ESG)社会に関する基本方針

1. 人権の尊重と保護

- ・ 普遍的な人権の尊重: すべての事業活動において、従業員や取引先を含むすべての関係者の人権を尊重し、いかなる差別やハラスメントを容認しません。国際的な人権基準に則った企業活動を行います。
- ・ サプライチェーンにおける人権保護: サプライチェーン全体で人権が守られるよう、パートナー企業やサプライヤーと協力し、人権に関するリスク管理を徹底します。

2. 労働環境の向上と従業員の働きがい向上

- ・ 安全で健康的な職場づくり: 全社員にとって安全で健康的な職場環境を提供し、労働安全衛生の向上を目指します。安全対策や職場の衛生管理を徹底するとともに、定期的なリスク評価と改善策の実施を行います。
- ・ 働きがいとキャリア開発の支援: すべての社員が自身の能力を最大限に発揮できるよう、教育・研修やキャリア開発の機会を提供します。また、従業員が働きがいを感じられる職場環境を整え、積極的なフィードバックや意見交換の場を設けます。

3. ダイバーシティとインクルージョンの推進

- ・ 多様性を尊重する企業文化の醸成: 性別、年齢、国籍、宗教、障がいの有無、性的指向などの多様な背景を尊重し、すべての人が活躍できる組織文化を育成します。
- ・ インクルーシブな職場環境の実現: 多様な価値観を尊重する職場環境を構築し、差別や偏見のない企業風土を育むための教育やトレーニングを全社員に実施します。

4. 地域社会との共生と貢献

- ・ 地域社会の発展への貢献: 企業の事業活動を通じて、地域社会の発展や住民の生活向上に貢献することを目指します。地域の教育・文化・福祉活動への支援や、ボランティア活動の推進を行います。
- ・ 環境保護および社会貢献活動: 地域の環境保護や災害支援、福祉活動などの社会貢献活動に積極的に参加し、地域のニーズに応えるための支援を行います。

5. 顧客およびサプライヤーとの責任ある関係構築

- ・ 顧客満足と信頼の向上: 顧客に対して高品質で安全な製品やサービスを提供し、顧客満足度の向上を図ります。また、顧客の期待を超える価値を提供し、信頼関係の強化を目指します。

- ・ サプライチェーンにおける社会的責任の推進: サプライチェーン全体での法令順守、倫理的行動、人権や労働環境の確保を求め、取引先企業との協力関係を築きながら、責任ある調達を推進します。

6. 透明性のある情報開示とコミュニケーション

- ・ 社会的責任に関する情報開示: 企業の社会的責任に関する取り組みや成果について、ステークホルダーに対して透明性の高い情報開示を行い、双方向のコミュニケーションを通じて信頼関係の向上を図ります。
- ・ 定期的な報告とフィードバックの実施: 社会貢献活動や人権保護に関する取り組みの進捗を定期的に報告し、ステークホルダーの意見を反映した改善を継続的に行います。

7. 運用方針

- ・ 目標の設定と年次評価: 社会に関する具体的な目標を設定し、達成状況を毎年評価して、必要な改善を行います。
- ・ 内部監査と教育: 社会に関する方針の順守状況を監査し、社員への教育・トレーニングを継続的に実施することで、すべての社員が社会的責任を理解し実行できるよう支援します。
- ・ 外部との協力とパートナーシップの構築: 業界団体や NGO、地域社会との協力を推進し、社会的責任を果たすための取り組みを共同で進めます。

2025年4月1日

アウスリンクグループ